令和 6 年度 指定管理者業務の評価表

1 施設概要

施設名	志摩市浜島ふるさと公園	所在地	志摩市浜島町松山路553-1
指定管理者名	特定非営利活動法人浜島スポーツクラブ	指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日
設置目的	スポーツを通じて住民の体力向上及び心身の健全な発達を図り、もって住みよい地域社会を形成することを目的として設置する。		
業務内容	(1) ふるさと公園の利用の許可に関する業務 (2) ふるさと公園の利用に係る料金の徴収に関する業務 (3) ふるさと公園の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会がふるさと公園の管理上必要があると認める業務		
施設概要	平成8年3月21日竣工 多目的グラウンド（夜間照明なし）、テニスコート（オムニコート2面/夜間照明あり）、芝生広場（スチール遊具1基）、管理棟1棟、公衆トイレ3棟、駐車場（38台収容）		
職員体制	臨時職員2名		
施設所管課名	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位：円)	
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	比較（C－B）	
事業収支	収入	指定管理料	1,682,000	1,800,000	1,770,000	-30,000
		利用料金	248,500	245,500	169,500	-76,000
		その他	50,261	45,970	28,815	-17,155
		計(a)	1,980,761	2,091,470	1,968,315	-123,155
	支出	人件費	1,617,421	1,454,398	1,547,649	93,251
		管理運営費	345,929	319,112	309,494	-9,618
		その他	90,000	95,000	89,400	-5,600
		計(b)	2,053,350	1,868,510	1,946,543	78,033
収支差引額(a-b)		-72,589	222,960	21,772	-201,188	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	<p>【収入の部】</p> <p>■利用料金 前年度比 76,000円減（テニスコート70,500円減、グラウンド5,500円減）</p> <p>【支出の部】</p> <p>■人件費 前年度比 約93,000円増 ・三重県最低賃金引き上げによる時給額の引き上げ及び作業時間数の増加等による</p>
----------------------------------	--

3 総合評価

指定管理者	市
<p>施設内の植栽や芝生管理、清掃については十分な管理を行い、今年度も利用者や近隣住民から好評いただきました。</p> <p>利用者数については、グラウンド7件668名で昨年度の28件462名から利用件数21件減（人数の206名増加は自主事業であるイベント開催による）、テニスコート89件566名で昨年度の145件761名から56件195名減と、利用率としては著しい減少という結果となりました。要因としては、夏場の酷暑による固定団体の活動回数の減少や学生の個人練習利用の減少、他施設の改修工事が終了し、そちらへ流れたこと等が挙げられます。</p> <p>利用率向上には非常に苦慮している状況ですが、引き続き合宿誘致や自主事業による活用に努めるとともに、令和7年度より芝生公園に志摩市子ども運動促進環境整備事業による新規遊具が設置されたことにより芝生公園の利用者が増加していることから、グラウンドやテニスコートの利用にも繋げることができればと考えます。</p>	<p>公園内の環境（植栽、芝生管理、清掃）について、昨年度に引き続き、利用者や近隣住民から好評をいただいていることから、指定管理者による適切な施設の維持管理の結果と評価できる。</p> <p>また、職員間のコミュニケーションが図れる体制を構築しており、情報共有の円滑化にも努められている。</p> <p>一方で、猛暑等の影響による利用件数の減少は大きな課題であることから、引き続き、施設担当課との連携も含め、利用率向上のための自主事業の実施や合宿誘致等に努められたい。</p>

指定管理業務項目別評価表

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価内容	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を十分に理解して管理を実施した。	A	日々の業務において、施設の目的や基本方針について理解の程が見受けられた。	
	施設設置目的の達成度	A	施設の設置目的である、住民のスポーツを通じての体力向上及び心身の健全な発達に資することができた。	A	施設の利用者数・運営状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。	
	運営状況	A	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画に計画された運営が行われた。	
	職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。	A	職員の配置は適正に行われた。	
	意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	連絡が必要な際には随時連絡により遅滞なく、情報共有できた。	
	各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされていた。	
	使用許可等	A	使用許可等申請が適正に行われていたか。	A	協定書の定めるところにより適正に事務を行った。	
	利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行われていたか。	A	協定書の定めるところにより適正に事務を行っていた。	
	個人情報	A	個人情報の取扱いが適正になされていたか。	A	個人情報取扱特記事項の内容をよく理解し、適正な取扱いがなされていた。	
法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	運営に関連する地方自治法、スポーツ基本法を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することできない、もしくはなじまない項目である。

指定管理業務項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価内容	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	施設利用状況及び利用者増加への取り組み	A	常連客の夜間の鍵の返却については管理棟に専用の箱を設置し、返却の手間を省いた。また利用者からの要望や連絡には迅速に対応した。	A	利便性を向上させるための自主的な取り組みが多く見られ、利用者満足の向上が図られた。
	利用者の平等な利用	A	全職員が情報を共有できるよう『職員用回覧板』にて申し送りをし、サービス水準の確保に努めた。	A	サービスの質を落とすことのないよう日々改善に取り組んでおり、サービスの水準は、期待される水準にあった。
	適切な情報提供	A	SNSや館内掲示を活用し、施設や教室のスケジュールやイベントの情報発信を図り、またSNSを利用しない層へは電話やメールで連絡をおこなうなど取りこぼしのない情報提供に努めた。	A	すべての利用者が情報を得れるよう工夫し、電話連絡やSNS等を活用して情報提供に努められた。
	非常時・緊急時の対応	A	津波・地震発生時の職員配置、傷病人発生時の対応マニュアルを整備し、全職員の共通理解を図った。また緊急時の体制や連絡網は目につくところに掲示している。	A	緊急時のマニュアルが整備されており、目につくところに掲示していることから適切に対応できている。
	苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情は常に全職員が速やかに共有・対処できる体制を取り、迅速かつ適切に対応できた。	A	苦情への対応は、その状況に応じて適切に対応されていた。
	自主事業	A	フリー参加のスポーツイベントには市内外より300人超の参加があり、大変好評いただいた。	A	利用者ニーズを的確に把握し、安全に自主事業を実施していた。
	事業の評価	A	事業実施後は職員間また指導員とも話し合う機会を設けて改善点の把握と共有を図り、次年度につなげていくよう努めた。	A	話し合いによりきちんと事業の評価がなされており、その結果を反映させた事業計画が策定できている。

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することできない、もしくはなじまない項目である。

指定管理業務項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価内容	判定	評価理由	判定	評価理由
施設・設備等の維持管理	建物・設備の保守点検	A	建物、設備、植栽等については非常に行き届いた管理がなされ、利用者からも好評を得ている。	A	施設整備等について安全上の問題はなかった。
	備品の管理	A	備品台帳を整備し、適切に備品を管理し、点検・保守に努めた。	A	備品台帳に基づいた適切な管理・点検・保守がなされ、備品等はきちんと整備されていた。
	備品・設備等の整理整頓	A	倉庫等については定期的に機会を設け、整理・整頓・清掃している。	A	整理整頓が徹底されており、職員意識も高かった。
	修繕業務	A	1件30万円未満の修繕は速やかに実施した。内容の記録についても適切に行った。	A	異常が認められた際は速やかに適正な処置が講じられており、内容の記録についても問題なく行われていた。
	清掃業務	A	施設の清掃・芝刈り等については職員2名が常時実施しているほか、夏期等には海洋センターからの増援も行い、常に清潔な状態を保つよう努めた。	A	清掃が行き届いており、清潔な状態が保たれていた。
	防犯体制	A	鍵の管理は適切に行った。防犯対策については配置の臨時職員より不審情報等、密に連絡・報告を受け、対処した。	A	鍵はきちんと管理されており、防犯面でも適切な対応がなされていた。
健全な財務・適切な会計処理	会計処理は適正になされているか	A	会計帳簿を備え、伝票等の会計関係書類も適切に保管している。普段の会計処理は事務員が行い、毎月ごとに会計士に監査を委託している。決算についても同様に事務員が作成し、会計士が精査している。	A	帳簿類の整備、関係書類の保管は適正に行われている。会計処理も簿記の有資格者及び税理士が行っているため問題ない。
	公租公課に滞納はないか	A	国税・地方税・社会保険料等の公的な債務について、履行遅滞となっていないか。	A	期限内に納付されていることを領収書等で確認済み。
	適正な収支状況にあるか	A	経営は黒字であり、経営状態は安定している。	A	人件費の増加により支出が増加したが、その他経費の削減努力もあり、安定した経営の実施がなされた。

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することできない、もしくはなじまない項目である。

1. 利用者ニーズ把握のための実施事項（複数ある場合は、全て記入してください。）

①意見箱の設置
②普段から積極的に利用者とのコミュニケーションを図り、意見や要望を伝えやすい環境を作っている。

2. 実施事項の結果概要（件数等具体的に記入してください。）

①意見箱 0件
②窓口へ直接要望 0件

3. 利用者ニーズに対する対応可能性 ※アンケート結果の内容を全て具体的に記入してください。（対応可能なものか、可能であるとすればその時期等）

※凡例 A：既に対応済み・すぐに対応可能 B：翌年度に対応する C：今後、検討する D：対応不可 E：その他・分類不能

ニーズ・意見等	対応可能性	施設回答	所管課所見
特になし			

4. 今後の課題・改善点等

ふるさと公園は事務局を置く海洋センターから距離があるものの、公園の担当職員は出勤前後に海洋センターへ立ち寄って事務局職員と十分にコミュニケーションを取っており、利用者からのクレームや要望などを含めた情報の共有がしやすい体制となっている。今後もそういった情報があれば、早急に対応するよう努めたい。